



「浦和のさかえに 歴史をほこる」これまでの150年、これからの50年

# 大いちょう

令和 3年 6月 1日  
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 令和3年度 No. 3 048 (829) 2737

## 規則やきまりを守ることは、思いやりをもつということ (6年担任の言葉から)

校長 永山 誉

新年度がスタートして2か月。5月18～19日には、6年生が日光への修学旅行、5月25～27日には、5年生が館岩自然の教室など、大きな行事を実施してまいりました。特に宿泊を伴う行事につきましては、いわゆるコロナ禍にあって、特に子どもたちの健康と安全を第一に実施することが求められ、保護者の皆様には、実施に向けての様々な準備や健康管理等への御協力、誠にありがとうございました。お陰様で、大きな成果をあげて帰校することができました。学校や家庭を離れての集団生活においては、規則やきまりを守ることが極めて大切になります。楽しい学校生活の基本も規則やきまりを守ることにあると言えます。6年生の担任が、修学旅行中に子どもたちに「規則やきまりを守ることは、思いやりをもつということ」という話をしました。5・6年生の宿泊学習での経験が、学校や家庭、そして地域の中で生かされるとともに、この思いやりの心が全学年に波及していくことを期待しています。

さて、思いやりに関して、昨年12月の講話朝会で子どもたちにもお話ししましたが、今でも心に残る広告があります。皆様も御記憶にある方が多いかと思われます。10年前の東日本大震災が発生した年に流れていたテレビ広告です。

「ころろ」は、だれにも見えないけれど  
「思い」は見えないけれど  
その気持ちをカタチに

「ころろづかい」は見える  
「思いやり」はだれにでも見える

(ACジャパンTV広告より)

これは、詩人であり作詞家である「宮澤章二」さんが作った「行為の意味」という詩から抜粋された広告です。その詩の原文は、次のような内容です。

### 行為の意味

宮澤章二 作

「あなたの「ころろ」はどんな形ですか  
と人に聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも「ころろ」は見えない  
けれど ほんとうに見えないのであろうか  
確かに「ころろ」はだれにも見えない  
けれど「ころろづかい」は見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為だから  
同じような胸の中の「思い」は見えない  
けれど「思いやり」はだれにでも見える  
それも人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心が あたたかい行為になり  
やさしい思いが やさしい行為になるとき  
「心」も「思い」も 初めて美しく生きる  
それは 人が人として生きることだ

「行為の意味」(こま書房新社) 宮澤章二 著

十四～十五頁より 原文通り記載

人の心の中には、温かで優しい思いやりの心がありますが、それは形として見えるものではありません。しかし、人は、ちょっとした言葉かけや、ちょっとした行動で、心や思いを心づかいや思いやりとして見せることができます。困っている友達に声をかけてあげる、そっと手を貸してあげる、優しく微笑んであげる、黙ってそばにいてあげるなど、小さな行為が相手に心づかいや思いやりとして伝わるものです。これからも、言葉や行動などの行為の大切さについて、子どもたちとともに考えていきたいと思えます。